

令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京海洋大学	タイプ	A①
事 業 名	持続可能な海洋開発・利用を実現する高度専門職業人養成プログラム－オケアヌスプラスー		
海 外 の 相 手 大 学	上海海洋大学、韓国海洋大学校、チュラロンコン大学、カセサート大学、マラヤ大学、ボゴール農科大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、日中韓版エラスムスを基礎とした海洋における国際協働教育プログラム「オケアヌスプログラム」を基礎としたものである。第2モードで構築し成果を上げてきたプログラムを発展させて対象をASEANの海洋諸国にまで拡大し、日中韓、ASEAN諸国が一体となってアジア諸国が共有する海洋分野の共通課題の解決を主導する人材育成を目指しており、海事、水産、資源、エネルギー、流通、環境等、海洋関連の幅広い分野をカバーするプログラムである。

事業内容では、日中韓3大学統一基準の単位互換システム「CTSEA (Credit Transfer system in East Asia)ガイドライン」を整備し、教育の質保証の仕組みが構築できており、また、学部低年次から博士後期課程までのすべての学生を対象として「SDGs達成に向けた戦略に対応できる国際的な高度専門職業人」の養成を図る構想となっている点が評価できる。また、交流への関心喚起から共同学位プログラムまで広範囲な活動が計画され、学習ポートフォリオの構築やデジタルバッジの活用を試みる計画となっており、先進的な取組である。

一方で、共同学位プログラムの構築については実現性に不確かさが見受けられる。ダブルディグリープログラムにおける達成目標について、より一層の可視化が望まれ工夫が必要である。また、プログラムの内容に留意し、ダブルディグリー修了者の出口戦略についても更に検討することが望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。